

平成18年度京都市交通事業決算概要

第1 自動車運送事業

経 常 損 益	8億56百万円
当 年 度 純 △ 損 益	8億14百万円
利 益 剰 余 金 (△ 累 積 欠 損 金)	△131億 4百万円
資 金 剰 余 額 (△ 不 良 債 務)	△132億31百万円

1 業務量 (1日平均)

区 分		17年度 (A)	18年度 (B)	差 引 (B) - (A)
年度末在籍車両数(両)		755	755	0
使用車両数(両)		655	661	6
走行キロ数(千km)		78.9	78.9	0.0
旅客数	一般旅客(千人)	230	237	7
	敬老等(千人)	78	72	△6
	計(千人)	308	309	1
期首人員(人)		871	784	△87

※ 年度末在籍車両数には、「小型バス・ジャンボタクシー代替モデル実証実験」で使用しているジャンボタクシー(9両)は含んでいない。

2 主要事項

(1) 京都市交通事業ルネッサンスプランの着実な推進

ア 「管理の受委託」の拡大の1年前倒し実施

19年3月に西賀茂営業所の一部委託を実施し、事業規模の1/2までの拡大の達成

イ 生活支援路線維持の取組

(ア) 生活支援路線補助金の繰入

(イ) 小型バス・ジャンボタクシー代替モデル実証実験の継続実施

(新たに鉄道駅接続などの利用者の利便性向上策の実施)

(2) お客様サービスの向上

ア 観光客や通学輸送等の増強などの系統とダイヤの見直し

(市バス新運転計画を19年3月に実施)

イ 市バス車両の更新 108両

(バリアフリー化推進のため、全車ノンステップバス等低床型車両とし、環境対策として、

うち3両を天然ガスバス、残り105両はアイドリングストップバスを導入)

ウ 春、秋の観光シーズン期間中における市バス、地下鉄案内「おもてなしキャンペーン」の実施

(3) 交通局本局庁舎の移転

(平成19年度中に太秦東部地区市街地再開発施設へ移転)

平成18年度 内装設備設計を実施

3 財政収支

年 度 項 目		前年度決算比較（消費税抜額）			
		17年度決算	18年度決算	増△減	
		億 百万円	億 百万円	億 百万円	
経 常	営業収益	187 25	187 94	69	
	運送収益	175 48	176 26	78	
	その他	11 77	11 68	△ 09	
	営業外収益	28 88	31 59	2 71	
	収入計	216 13	219 53	3 40	
	損 益	営業費用	209 09	208 06	△ 1 03
		経常人件費	96 64	84 03	△ 12 61
		退職手当	18 94	16 86	△ 2 08
		経費	77 95	89 08	11 13
		減価償却費等	15 56	18 09	2 53
営業外費用		3 45	2 91	△ 54	
支出計	212 54	210 97	△ 1 57		
	差 引	3 59	8 56	4 97	
特別損益		△ 48	△ 42	6	
再差引（純損益）		3 11	8 14	5 03	
利益剰余金 （△累積欠損金）		△ 139 18	△ 131 04	8 14	
資 本 的 収 支	収入	24 28	29 34	5 06	
	支出	67 38	44 26	△ 23 12	
	差 引	△ 43 10	△ 14 92	28 18	
資金剰余額 （△不良債務）		△ 143 62	△ 132 31	11 31	

4 企業債の状況

年 度 項 目	17年度末 未償還残高	年 度 内 増 △ 減			18年度末 未償還残高
		発行額	償還額	差 引	
建設企業債	億 百万円 91 31	億 百万円 26 78	億 百万円 16 64	億 百万円 10 14	億 百万円 101 45

第2 高速鉄道事業

経常損益	△166億94百万円
当年度純△損益	△167億60百万円
償却前損益 (現金収支)	△64億98百万円
利益剰余金 (△累積欠損金)	△2,739億97百万円
資金剰余額 (△不良債務)	△289億15百万円

1 業務量 (1日平均)

区 分		17年度 (A)	18年度 (B)	差 引 (B) - (A)
年度末営業キロ (km)		28.8	28.8	0.0
年度末在籍車両数 (両)		222(37編成)	222(37編成)	0(0編成)
運 転 回 数 (回)	烏丸線	162(土休140)	162(土休140)	0
	東西線	133※(土休121)	133※(土休121)	0
走行キロ数 (千km)		51.1	51.1	0.0
旅客数	一般旅客 (千人)	291	293	2
	敬老等 (千人)	24	23	△1
	計 (千人)	315	316	1
期首人員 (人)	営業部門	535	509	△26
	建設部門	53	49	△4
	合計	588	558	△30

注 ※御陵～京都市役所前については、この他に京津線からの直通列車が83回 (土休75回)ある。

2 主要事項

(1) 地下鉄事業経営健全化計画の着実な実施

経営健全化出資金の繰入と地下鉄駅職員業務の一部民間委託化に向けた取組

(2) 東西線二条～天神川間延伸工事

本市西部地域における生活交通の充実や観光地へのアクセスの更なる向上のため取り組んでいる東西線延伸事業について、工事の進捗を図り、土木工事をほぼ完了させた。

(3) お客様サービスの向上と増収・増客対策の推進

ア 「駅ナカビジネス」の展開として北大路駅へのコンビニエンスストア「洛マート 北大路」出店や京都駅構内イベントスペースの活用

イ 広告案内の総合パンフレットの作成やトラフィカ京カードなどへのカード広告等新規広告媒体の導入

ウ 平成19年4月1日から利用サービスを開始した「PiTaPa」対応施設の整備

(4) バリアフリー化と安全対策の実施

ア 京都駅南側連絡通路スロープ改修等

イ プラットホーム階段部への防火戸等の設置

3 財政収支

年 度 項 目		前年度決算比較 (消費税抜額)		
		17年度決算	18年度決算	増 △ 減
		億 百万円	億 百万円	億 百万円
経 常 損 益	営 業 収 益	210 18	221 55	11 37
	運 輸 収 益	198 08	208 65	10 57
	そ の 他	12 10	12 90	80
	営 業 外 収 益	27 59	28 97	1 38
	収 入 計	237 77	250 52	12 75
	営 業 費 用	296 17	293 35	△ 2 82
	経 常 人 件 費	53 56	52 11	△ 1 45
	退 職 手 当	8 34	9 55	1 21
	経 費	125 00	124 66	△ 34
	減 価 償 却 費 等	109 27	107 03	△ 2 24
営 業 外 費 用	128 96	124 11	△ 4 85	
支 出 計	425 13	417 46	△ 7 67	
	差 引	△ 187 36	△ 166 94	20 42
	現 金 収 支	△ 80 70	△ 64 98	15 72
	特 別 損 益	△ 54	△ 66	△ 12
	再 差 引 (純 損 益)	△ 187 90	△ 167 60	20 30
	利 益 剰 余 金 (△ 累 積 欠 損 金)	△ 2,572 37	△ 2,739 97	△ 167 60
資 本 的 収 支	収 入	315 24	282 98	△ 32 26
	支 出	323 95	315 93	△ 8 02
	差 引	△ 8 71	△ 32 95	△ 24 24
	資 金 剰 余 額 (△ 不 良 債 務)	[△ 364 66] △ 278 32	[△ 371 47] △ 289 15	△ 10 83

(注) [] 内は、資本費負担緩和分企業債を発行する前の不良債務である。

4 企業債の状況

年 度 項 目	17年度末		年 度 内 増 △ 減			18年度末		
	未償還残高		発 行 額	償 還 額	差 引	未償還残高		
	億	百万円	億	百万円	億	百万円	億	百万円
建 設 企 業 債			[31 60]	[31 60]				
	2,938	85	79	76	180	55	2,838	06
特 例 債	148	79	25	32	19	56	154	55
平 準 化 債	52	01	45	56		0	45	56
資 本 費 負 担 緩 和 分 企 業 債	628	04	82	32	5	96	76	36
合 計	3,767	69	232	96	206	07	26	89
							3,794	58

(注) 発行額及び償還額の上段 [] 内は、建設企業債借換分で内数である。